

洞爺湖町

高齢者福祉計画及び介護保険事業計画

施策評価報告書

令和5年11月

目次

| | |
|-----------------------------------|----|
| 1. 評価の方法 | 1 |
| 2. 施策ごとの主な課題と今後必要な取組 | 2 |
| 1. 高齢者福祉の取組 | 2 |
| 1-1 高齢者にやさしいまちづくり | 2 |
| 1-2 福祉サービス | 8 |
| 1-3 高齢者の生涯学習（社会教育事業） | 12 |
| 2. 介護保険事業の取り組み | 13 |
| 2-1 介護（予防）サービス | 13 |
| 2-2 地域密着型サービス | 18 |
| 2-3 施設サービス | 20 |
| 2-4 地域支援事業 | 22 |
| 2-5 自立支援・重度化防止・認知症施策に向けた成果目標..... | 29 |
| 2-6 人材確保と介護サービス事業所の質の向上..... | 30 |
| 2-7 要介護（支援）者に対するリハビリテーションの目標..... | 31 |
| 2-8 持続力のある介護保険制度運営 | 32 |
| 3. 災害・感染症対策に係る備え | 34 |
| 3-1 災害・感染症等の発生に備えた体制整備..... | 34 |
| 3. 施策ごとの取組の達成度一覧 | 35 |

1. 評価の方法

本評価は、次期計画策定の基礎資料とするために、現行の「洞爺湖町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」の中で、それぞれに位置付けられている施策について、施策ごとに、「基本計画期間における達成状況」「達成度」「残された課題」「施策の方向」について、担当課の職員が自己評価を行ったものです。

達成度の評価基準

| 達成度 | 評価内容 | 達成状況 |
|-----|--|----------|
| A | 計画に掲げた施策を達成した。 (ほぼ100%実施した) | 80~100% |
| B | 計画に掲げた施策を概ね達成した。 (80%程度実施した) | 60~80%程度 |
| C | 現在、施策の達成に向けて動いている。 (半分程度実施した) | 40~60%程度 |
| D | 現在、施策の達成に向けて動き始めている。 (施策に着手し、動き始めることはできた) | 20~40%程度 |
| E | 現在、ほとんど手をつけていない。 (施策に着手することができなかった) | 20%未満 |

分野別の目標

●高齢者福祉の取組

1. 高齢者にやさしいまちづくり
2. 福祉サービス
3. 高齢者の生涯学習

●介護保険事業の取組

1. 介護（予防）サービス
2. 地域密着型サービス
3. 施設サービス
4. 地域支援事業
5. 自立支援・重点化防止・認知症施策 に向けた成果目標
6. 人材確保と介護サービス事業所の質の向上
7. 要介護（支援）者に対するリハビリテーションの目標
8. 持続力のある介護保険制度運営

●災害・感染症対策に係る備え

1. 災害・感染症等の発生に備えた体制整備

2. 施策ごとの主な課題と今後必要な取組

各目標の施策ごとの主な課題と今後必要な取組は次のようになっています。

1. 高齢者福祉の取組

1-1 高齢者にやさしいまちづくり

■目標達成状況

●洞爺湖町社会福祉協議会の活動

【ふれあい交流事業】

| 利用者延人数 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|--------|---------|---------|
| 旧虻田地区 | 254人 | 519人 |
| 旧洞爺地区 | 135人 | 125人 |
| 計 | 389人 | 644人 |

【移動支援事業】

| | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|------|---------|---------|
| 登録者数 | 208人 | 198人 |
| 利用者数 | 1,729人 | 1,372人 |
| 移送回数 | 3,264回 | 2,516回 |

【地域助け合い有償ボランティア事業(通称:手助け隊事業)】

| | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|-------|---------|---------|
| 利用登録者 | 147人 | 152人 |
| 協力登録者 | 39人 | 40人 |
| 延べ活動数 | 883回 | 1,078回 |

【地域助け合いボランティアポイント事業(通称:はつらつポイント事業)】

| | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|----------|---------|---------|
| 事業登録者数 | 12団体 | 10団体 |
| 延べ活動回数 | 79回 | 196回 |
| 手帳発行数 | 45人 | 56人 |
| 総付与ポイント数 | 703 | 1422 |
| 商品券交換人数 | 57人 | 48人 |

●洞爺湖町地域食堂

| | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|-----------|---------|---------|
| 利用者数(大人) | 141人 | 261人 |
| 利用者数(子ども) | 102人 | 856人 |

■関係者の取組

①民生委員児童委員・福祉委員の見守り

| 民生委員児童委員・福祉委員の見守り | 健康福祉課 |
|--|-------|
| <p>●計画期間における達成状況</p> <p>民生委員児童委員・福祉委員と連携してひとり暮らし高齢者の状況把握に努めてきました。</p> <p>●残された課題</p> <p>民生委員・児童委員が行う活動内容について知らない方や地区の民生委員児童委員が誰かわからないという方が多いため、今後も継続して活動内容の周知などを行っていく必要があります。</p> <p>●達成度：A ●施策の方向：維持</p> | |

| 洞爺湖町社会福祉協議会の活動 | 健康福祉課 (社会福祉協議会) |
|---|--------------------|
| <p>●計画期間における達成状況</p> <p>概ね予定どおり実施されています。</p> <p>●残された課題</p> <p>委託事業である「配食サービス」について、利用件数等の状況やコスト面を考えた場合、民間業者への切り替えも必要に感じています。しかし、洞爺湖町デイサービスセンターの調理も担っているため、慎重な検討が必要になります。</p> <p>●達成度：A ●施策の方向：維持</p> | |

| | |
|---|--------------------|
| 【ふれあい交流事業】 | 健康福祉課 (社会福祉協議会) |
| <p>●計画期間における達成状況</p> <p>対象者を、性別問わず70歳以上の方または75歳以上の夫婦世帯の方に広げ、多くの住民が参加できるようにボランティアと協議しながら事業を進めています。その結果、男性の参加者は増加傾向にあります。また、コロナ禍の影響により会場での食事が難しい時期も、お弁当の配布など内容を変更して対応しました。</p> <p>●残された課題</p> <p>実働支援者であるボランティアの高齢化がすすみ、次世代の担い手の確保が大きな課題となっています。</p> <p>●達成度：A ●施策の方向：維持</p> | |

| | |
|---|--------------------|
| 【移動支援事業】 | 健康福祉課 (社会福祉協議会) |
| <p>●計画期間における達成状況</p> <p>希望者の登録は概ね受け入れを行え、送迎利用の希望にも概ね応えることができました。</p> <p>●残された課題</p> <p>移送用車両の老朽化や運転手の人員確保が課題となっています。また、町外への通院送迎は、送迎時間が長くなるため、他の利用者を待たせる場合や希望通りの時間帯での対応が難しくなること、運転手の待機時間の増加など、業務の効率化が課題となっています。</p> <p>●達成度：A ●施策の方向：維持</p> | |

| | |
|--|--------------------|
| 【地域助け合い有償ボランティア事業（通称：手助け隊事業）】 | 健康福祉課 (社会福祉協議会) |
| <p>●計画期間における達成状況</p> <p>概ね順調に実施されています。</p> <p>●残された課題</p> <p>今後も継続的な周知を行っていきます。</p> <p>●達成度：A ●施策の方向：維持</p> | |

【地域助け合いボランティアポイント事業（通称：はつらつポイント事業）】 健康福祉課

●計画期間における達成状況

コロナ禍の影響により、活動が減少していましたが、少しずつ回復しています。

●残された課題

ボランティア活動を通じて、地域との関わりやつながりが介護予防となること等、折に触れ周知していきます。

●達成度：B ●施策の方向：拡充

【鍵預かりサービス事業】

健康福祉課

●計画期間における達成状況

サービスを利用されている方のうち、施設に入所され、利用終了となる方が多い状況です。

●残された課題

周知不足は否めませんが、ニーズ事態も少ないと思います。

●達成度：B ●施策の方向：維持

【はつらつ楽習！脳健康教室】（洞爺湖町一般介護予防事業受託事業）

健康福祉課

●計画期間における達成状況

希望者には送迎サポーターによる送迎を実施し、90代の方など受講者の幅が広がりました。

●残された課題

受講希望者が増えた場合に今後も定員を増やして対応したいですが、学習サポーター及び送迎サポーターの不足が懸念されます。

●達成度：A ●施策の方向：維持

| | |
|--|--------------------|
| (3) 老人クラブ活動 | 介護高齢課 (社会福祉協議会) |
| <p>●計画期間における達成状況</p> <p>コロナ禍の影響により、一部中止を余儀なくされた事業もありましたが、会員同士の交流や健康づくりに努めてきました。</p> <p>●残された課題</p> <p>役員の担い手不足による単位クラブの解散や新規加入者の伸び悩みが大きな課題となっているため、会員増強に努めていく必要があります。</p> <p>●達成度: B ●施策の方向: 維持</p> | |

| | |
|--|--------------------|
| (4) サロン活動 | 健康福祉課 (社会福祉協議会) |
| <p>●計画期間における達成状況</p> <p>コロナ禍の影響により多くのサロンが中止していましたが、地域住民の要望等により少しずつ再開し始めています。</p> <p>●残された課題</p> <p>コロナ禍による休止後、再開されないまま活動を止めてしまったサロンもあり、住民ニーズも確認しながら支援を行っていく必要があります。</p> <p>●達成度: C ●施策の方向: 拡充</p> | |

| | |
|--|-------|
| (5) 洞爺湖町地域食堂 | 健康福祉課 |
| <p>●計画期間における達成状況</p> <p>当初は町の委託事業として地域食堂を運営してきましたが、継続可能な居場所づくりを行うためには、住民主体の地域食堂づくりが望ましいと考え、令和3年度より地域食堂実施主体事業者への運営費補助金を交付しています。</p> <p>●残された課題</p> <p>地域食堂事業者側の工夫や努力により、町委託事業で実施していた頃の6割程度の費用で運営ができていますが、将来的に町からの補助金が現象した場合に備え、他の財源を確保していく必要があります。</p> <p>●達成度: A ●施策の方向: 維持</p> | |

(6) 災害時の見守り体制の整備

介護高齢課

●計画期間における達成状況

避難行動要支援者名簿については随時更新し、関係機関で情報共有を図っており、万が一の場合の支援に備えています。コロナ禍の影響により避難行動要支援者への訓練等は実施できていませんが、今年度実施予定です。

●残された課題

避難行動要支援者名簿以外にも、支援を必要とする方の情報は各課で所有していますが、災害時に備え、情報を一元的に管理する仕組みづくりを検討していく必要があります。

●達成度：B ●施策の方向：維持

(7) 高齢者の交通安全と防犯対策

介護高齢課

●計画期間における達成状況

概ね達成できましたが、コロナ禍により集う場への制限があったことから、啓発活動等については一部にとどまっています。

●残された課題

コロナが5類に移行されたことに伴い、各団体への取り組み内容の変化に対し、再度支援方法の確認が必要です。

●達成度：B ●施策の方向：維持

1-2 福祉サービス

■目標達成状況

●配食サービス（旧洞爺地区のみ）

| | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|-------|---------|---------|
| 利用者数 | 3人 | 2人 |
| 利用配食数 | 643食 | 410食 |

●高齢者入浴助成事業

| | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|--------|---------|---------|
| 利用者延人数 | 29,584人 | 30,501人 |

●緊急通報システム事業

| | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|------|---------|---------|
| 設置台数 | 13台 | 12台 |

●養護老人ホーム

| | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|------------------------|---------|---------|
| 町入所措置者数(町外施設への入所措置者含む) | 46人 | 45人 |

●ケアハウス（ケアハウスふるりの丘）

| | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|------------|---------|---------|
| 入居者数(洞爺湖町) | 37人 | 37人 |

■関係者の取組

| | |
|--|-------|
| (1) 配食サービス (旧洞爺地区のみ) | 介護高齢課 |
| <p>●計画期間における達成状況 概ね予定どおり実施されていますが、年々利用者が減少しています。</p> <p>●残された課題 利用件数等の状況やコスト面を考えた場合、民間業者への切り替えも必要に感じています。しかし、洞爺湖町デイサービスセンターの調理も担っているため、慎重な検討が必要になります。</p> <p>●達成度: A ●施策の方向: 維持</p> | |
| (2) 高齢者入浴助成事業 | 介護高齢課 |
| <p>●計画期間における達成状況 コロナ禍の影響により、利用者が減少していましたが、少しずつ回復しています。</p> <p>●残された課題 公衆浴場の料金は値上がりしていますが、高齢者の自己負担分については値上げしないで継続していきたいです。</p> <p>●達成度: A ●施策の方向: 維持</p> | |
| (3) 高齢者交通費助成事業 | 介護高齢課 |
| <p>●計画期間における達成状況 概ね予定どおり実施されています。</p> <p>●残された課題 利用実人数の把握に努め、適正な金額について検討していく必要があります。</p> <p>●達成度: A ●施策の方向: 維持</p> | |

(4) 緊急通報システム事業

介護高齢課

●計画期間における達成状況

概ね予定どおり実施されていますが、年々利用者が減少しています。

●残された課題

今後も継続的な周知を行っていきます。

●達成度：A ●施策の方向：維持

(5) 緊急医療情報キット配布事業

介護高齢課

●計画期間における達成状況

概ね予定どおり実施されていますが、新規利用者がほとんどいない状況です。

●残された課題

広報や回覧以外の周知方法を検討していきたいです。

●達成度：B ●施策の方向：維持

(6) 安心できる住まいの確保の支援

介護高齢課

●計画期間における達成状況

コロナ禍の影響により、各団体の取組が一部中止を余儀なくされ、広報等の活動にとどまっています。

●残された課題

各団体の事業再開の状況を確認しながら支援を行っていく必要があります。

●達成度：C ●施策の方向：維持

(7) 養護老人ホーム

介護高齢課

●計画期間における達成状況

制度に基づき予定どおり実施されています。

●残された課題

今後も関係機関と連携し、養護老人ホームへの入所が必要な方への措置を行っていきます。

●達成度：A ●施策の方向：維持

(8) ケアハウス（ケアハウスふるりの丘）

介護高齢課

●計画期間における達成状況

ニーズは今後増加すると見込まれます。

●残された課題

今後増加すると思われるニーズをカバーできる事業所の確保を検討したいです。

●達成度：A ●施策の方向：維持

1-3 高齢者の生涯学習（社会教育事業）

■関係者の取組

| (1) いきいき学園（高齢者大学） | 社会教育課 |
|--|-------|
| <p>●計画期間における達成状況</p> <p>令和3年度と令和4年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業を中止としていましたが、令和5年度は予定どおり事業を実施しています。なお、登録制について現在は廃止しています。</p> <p>●残された課題</p> <p>参加者の高齢化に伴う、参加者の減少があります。</p> <p>●達成度: B ●施策の方向: 維持</p> | |

2. 介護保険事業の取り組み

2-1 介護（予防）サービス

■関係者の取組

| | |
|---|-------|
| (1) 訪問介護（ホームヘルプ） | 介護高齢課 |
| <p>●計画期間における達成状況 ニーズは今後増加すると思われます。</p> <p>●残された課題 今後増加すると思われるニーズをカバーできる事業所の確保が必要です。</p> <p>●達成度：B ●施策の方向：拡充</p> | |
| (2) 訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護 | 介護高齢課 |
| <p>●計画期間における達成状況 町内に事業所がないことから、利用者は減少傾向にありますが、サービスが必要な利用者が利用できない状況です。</p> <p>●残された課題 今後増加すると思われるニーズをカバーできる事業所の確保が必要です。</p> <p>●達成度：B ●施策の方向：維持</p> | |
| (3) 訪問看護・介護予防訪問看護 | 介護高齢課 |
| <p>●計画期間における達成状況 訪問看護のニーズは高いですが、利用者の利用状況については、横ばい傾向にあります。</p> <p>●残された課題 継続して安心したサービスの提供ができる体制の確保に努めます。</p> <p>●達成度：A ●施策の方向：維持</p> | |

(4) 訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーション

介護高齢課

●計画期間における達成状況

ニーズは横ばい傾向にあると思われます。

●残された課題

横ばい傾向にある中でも、事業所の継続に努めます。

●達成度：B ●施策の方向：維持

(5) 居宅療養管理指導・介護予防居宅療養管理指導

介護高齢課

●計画期間における達成状況

ニーズは今後増加すると思われます。

●残された課題

継続したサービスの提供ができる体制の確保に努めます。

●達成度：A ●施策の方向：維持

(6) 通所介護

介護高齢課

●計画期間における達成状況

コロナ禍により利用控えが見られましたが、令和4年度から徐々に解消され、今後ニーズは増加する傾向にあると思われます。

●残された課題

継続したサービスの提供ができる体制の確保に努めます。

●達成度：A ●施策の方向：維持

(7) 通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション

介護高齢課

●計画期間における達成状況

コロナ禍により利用控えが見られましたが、令和4年度から徐々に解消され、今後ニーズは増加する傾向にあると思われます。

●残された課題

継続したサービスの提供ができる体制の確保に努めます。

●達成度：A ●施策の方向：維持

(8) 短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

介護高齢課

●計画期間における達成状況

ニーズは今後増加すると思われます。

●残された課題

事業所とともに人材確保の取組が必要です。

●達成度：B ●施策の方向：維持

(9) 短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護

介護高齢課

●計画期間における達成状況

ニーズは今後増加すると思われます。

●残された課題

事業所とともに人材確保の取組が必要です。

●達成度：B ●施策の方向：維持

(10) 特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護

介護高齢課

●計画期間における達成状況

ニーズは今後増加すると思われます。

●残された課題

町内には事業所開設の予定はないことから、引き続き関係機関と連携に努めます。

●達成度：B ●施策の方向：維持

(11) 福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与

介護高齢課

●計画期間における達成状況

ニーズが増加している中で、町独自の概要を作成し、ケアマネージャーなどと連携しながら支援しています。

●残された課題

継続したサービスの提供ができる体制の確保に努めます。

●達成度：A ●施策の方向：維持

(12) 特定介護福祉用具販売・特定介護予防福祉用具販売

介護高齢課

●計画期間における達成状況

ニーズが増加している中で、町独自の概要を作成し、ケアマネージャーなどと連携しながら支援しています。

●残された課題

継続したサービスの提供ができる体制の確保に努めます。

●達成度：A ●施策の方向：維持

(13) 住宅改修・介護予防住宅改修

介護高齢課

●計画期間における達成状況

ニーズが増加している中で、町独自のガイドラインを作成し、ケアマネージャーや施工業者などと連携しながら支援しています。

●残された課題

継続したサービスの提供ができる体制の確保に努めます。

●達成度：A ●施策の方向：維持

(14) 居宅介護支援・介護予防支援

介護高齢課

●計画期間における達成状況

コロナ禍により利用控えが見られましたが、令和4年度から徐々に解消され、今後ニーズは増加する傾向にあると思われます。

●残された課題

継続したサービスの提供ができる体制の確保に努めます。

●達成度：A ●施策の方向：維持

2-2 地域密着型サービス

■関係者の取組

| | |
|--|-------|
| (1) 認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護 | 介護高齢課 |
| <p>●計画期間における達成状況 利用者の減少により、現在は休止状況にあります。</p> <p>●残された課題 事業所再開に向けて、事業所との調整を図りたいです。</p> <p>●達成度: C ●施策の方向: 維持</p> | |
| (2) 認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護 | 介護高齢課 |
| <p>●計画期間における達成状況 ニーズは横ばい傾向にあると思われます。</p> <p>●残された課題 横ばい傾向にある中でも、事業所の継続に努めます。</p> <p>●達成度: A ●施策の方向: 維持</p> | |
| (3) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | 介護高齢課 |
| <p>●計画期間における達成状況 ニーズは横ばい傾向にあると思われます。</p> <p>●残された課題 横ばい傾向にある中でも、事業所の継続に努めます。</p> <p>●達成度: A ●施策の方向: 維持</p> | |

(4) 地域密着型通所介護

介護高齢課

●計画期間における達成状況

コロナ禍により利用控えが見られましたが、令和4年度から徐々に解消されてきてはいますが、今後は減少傾向にあると思われます。

●残された課題

横ばい傾向にある中でも、事業所の継続に努めます。

●達成度：B ●施策の方向：維持

(5) 小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護

介護高齢課

●計画期間における達成状況

近隣市町村において、事業所の開設があったことから今後増加傾向にあると思われます。

●残された課題

今後増加すると思われるニーズを把握し、サービス利用の調整をはかる必要があります。

●達成度：B ●施策の方向：拡充

(6) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

介護高齢課

●計画期間における達成状況

引き続き他市町村においてのサービス利用であることから、横ばい傾向にあると思われます。

●残された課題

今後横ばい傾向にあると思われるニーズを把握し、サービス利用の調整をはかる必要があります。

●達成度：B ●施策の方向：維持

2-3 施設サービス

■関係者の取組

| | |
|--|-------|
| (1) 介護老人福祉施設 | 介護高齢課 |
| <p>●計画期間における達成状況 ニーズは横ばい傾向にあると思われます。</p> <p>●残された課題 横ばい傾向にある中でも、事業所の継続に努めます。</p> <p>●達成度: A ●施策の方向: 維持</p> | |
| (2) 介護老人保健施設 | 介護高齢課 |
| <p>●計画期間における達成状況 引き続き他市町村においてのサービス利用であることから、横ばい傾向にあると思われます。</p> <p>●残された課題 今後横ばい傾向にあると思われるニーズを把握し、サービス利用の調整をはかる必要があります。</p> <p>●達成度: B ●施策の方向: 維持</p> | |
| (3) 介護療養型医療施設 | 介護高齢課 |
| <p>●計画期間における達成状況 令和6年度3月末でサービス提供が終了することから、サービス利用者は減少しています。</p> <p>●残された課題 8期計画で終了することから、残された課題はないです。</p> <p>●達成度: B ●施策の方向: 休・廃止</p> | |

●計画期間における達成状況

町内において、100床の介護医療院の開設及び近隣市町村において医療院への転換による事業所開設が進んでいることから、利用者のニーズは増加傾向にあると思われま

●残された課題

今後増加傾向にあると思われることからニーズを把握し、サービス利用の調整をはかることが必要で

●達成度：A ●施策の方向：拡充

2-4 地域支援事業

■目標達成状況

●介護給付適正化主要5事業

①要介護認定の適正化

要介護認定を適正に行うため、公平・公正な認定調査を実施するとともに、認定調査票等の介護認定審査会資料の点検を実施します。

| | 現状 | | | 目標 |
|---------|-------|---------|---------|------------------|
| | 令和元年度 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 | 第8期計画中の目標 |
| 要介護申請件数 | 685件 | 611件 | 498件 | 引き続き適正な要介護認定を行う。 |

②ケアプランの点検

介護支援専門員(ケアマネジャー)との面談を通して、「自立支援に資するケアマネジメント」の普及啓発を推進し、ケアプランの質の向上を図ります。

| | 現状 | | | | 目標 |
|---------|-------|---------|---------|----------|-----------|
| | 令和元年度 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 | 令和5年12月末 | 第8期計画中の目標 |
| ケアプラン点検 | 委託実施 | 委託実施 | 委託実施 | 委託実施 | 委託実施を継続 |

③介護給付費通知の発行

介護給付費を介護サービス利用者へ通知することにより、支払った自己負担分との相違がないか等の確認をしてもらい、架空請求等の不正発見の契機とします。

| | 現状 | | | | 目標 |
|------|-------|---------|---------|----------|-----------|
| | 令和元年度 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 | 令和5年12月末 | 第8期計画中の目標 |
| 通知回数 | 年2回 | 年2回 | 年2回 | 年2回 | 2回/年 |

④住宅改修・福祉用具の点検

住宅改修・福祉用具購入の給付適正化のため、申請内容の審査を綿密に行うとともに、申請者(本人、家族、住宅改修理由書作成者、工事業者など)に助言・指導を行い、住宅改修については全件実地調査を行います。

| | 現状 | | | 目標 |
|------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------|
| | 令和元年度 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 | 第8期計画中の目標 |
| 利用件数 | 住宅改修24件 福祉用具購入39件 福祉用具貸与1,140件 | 住宅改修30件 福祉用具購入54件 福祉用具貸与1,660件 | 住宅改修29件 福祉用具購入48件 福祉用具貸与1,807件 | 給付の適正化とともに、申請に対する迅速な審査を行う。 |

●家族介護支援事業の実施

①家族介護継続支援事業(家族介護用品支給)

在宅で重度の介護者(要介護4以上)を介護している家族の経済的負担の軽減を目的に介護用品の支給を行います。(紙おむつ他4品目)

| | 現状 | | | 目標 |
|-----|-------|---------|---------|-------------------------|
| | 令和元年度 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 | 第8期計画中の目標 |
| 利用者 | 18人 | 14人 | 14人 | 引き続き、家族介護者の経済的負担の軽減を図る。 |

②介護者交流会の開催

在宅で介護している家族の健康管理や精神的な負担の軽減を図るため、介護から一時的に離れ介護者相互の交流会等を開催します。

| | 現状 | | | | 目標 |
|------|-------|---------|---------|----------|-------------------|
| | 令和元年度 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 | 令和5年12月末 | 第8期計画中の目標 |
| 開催回数 | 年3回 | 0回 | 0回 | 0回 | 参加者数の増加や内容の充実を図る。 |

■関係者の取組

| (1) 介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業) ①訪問型サービス(第1号訪問事業) | 介護高齢課 |
|--|-------|
| <p>●計画期間における達成状況</p> <p>訪問介護員によるサービス及び有償ボランティアの紹介、町と企業の協定により必要なサービスを提供できるように体制づくりを進めます。</p> | |
| <p>●残された課題</p> <p>家族と離れて支援を受けられない、又は家族がいない高齢者の一人暮らしや夫婦世帯が多く、元気なときは自分でできていたことも体力の低下や疾病等により不自由を感じることも少なくありません。</p> <p>また、最近は運転免許返納に伴い買い物など困難になるケースもあります。訪問型サービスやボランティアのサービスで支援していますが担い手不足の現状があり、今後更に多様化するニーズに対応できる支援の充実が求められます。</p> | |
| <p>●達成度：B ●施策の方向：維持</p> | |

●計画期間における達成状況

総合事業のサービス以外にも住民主体の集いの場の再開支援など、介護予防のため今後も参加できるサービスの充実を図ります。

●残された課題

通所型サービスは利用者が減少、通所型Cは定員数の増加ができない状況です。最近では短時間サービスを希望する方が増えていますが、対応できるサービス事業所が少ない状況です。コロナ禍で中止している集いの場の再開に向けて、社会福祉協議会主催で集いの代表者の会を開くなど支援を後押ししています。また趣味活動の場への送迎を希望する声もあり多様なニーズに対応するため今後検討していきます。

●達成度：B

●施策の方向：維持

●計画期間における達成状況

要支援認定者・事業対象者が自宅で自分らしい生活を継続するために総合事業サービスのみではなくインフォーマな支援を提案しながら自立支援のために必要なケアマネジメントの実施を行います。

●残された課題

地域包括支援センター・委託を受けた居宅介護支援事業所の職員がケアマネジメントを行っていません。公的なサービスだけではなく地域にあるインフォーマなサービスの情報提供を行いつつ、利用者のニーズを聞きながら、自立支援に向けた支援ができるようにケアマネジメントの質の向上が必要です。

●達成度：B

●施策の方向：維持

●計画期間における達成状況

介護予防把握事業である介護予防健診や普及啓発事業等は予定通り実施できており、今後も高齢化に伴い支援の必要性がある高齢者も増加して行くと思われるため、事業を継続していきます。

●残された課題

介護予防把握事業では、機能低下者が一定数みられるため、必要な支援につなげることや、健康づくりに関する普及啓発を行い、健康寿命の延伸につながるよう事業を継続していく必要があります。

介護予防教室では、虻田地区は会場等の都合で新規参加者を増やすことが難しいため、開催日の増設等について、今後、検討していきます。

●達成度：B

●施策の方向：維持

●計画期間における達成状況

ア. 総合相談支援業務

包括の三職種が連携し対応し、関係機関への紹介や必要なサービスにつなげる支援を行いながら、自宅で自立した生活が送れるように支援します。

イ. 権利擁護業務

高齢化に伴い、高齢者虐待の相談や対応の必要性も増えて行くと思われるため、事業を継続していきます。中核機関の設置については、協議を実施し方向性を決めていきます。

●残された課題

ア. 総合相談支援業務

三職種が連携し対応、町内の関係部所への紹介や関係機関と連携を行いながら支援しています。

また、保健・介護予防一体化事業担当と連携を密にし、自立支援・重度化防止を図る必要があります。

イ. 権利擁護業務

高齢者虐待の相談が増えてきているため、防止や対応についての普及啓発を継続していくとともに、「高齢者虐待防止・対応マニュアル」の作成から年数が経過しているため、必要な情報を更新し、今後も早期に対応できるよう整備を図る必要があります。

●達成度：B

●施策の方向：維持

●計画期間における達成状況

町内には医療や介護、福祉に関する事業所が52か所あり、多職種による包括的なケアや連携により、高齢者の生活を支えています。

そのため、連携に関する情報の共有やスキルアップ等を定期的に行うとともに、住民に対する普及啓発活動を継続して実施しています。

●残された課題

洞爺湖町は独居や夫婦のみの高齢化世帯が多い町であり、今後独居であっても在宅での看取りを希望される方や、施設等での看取りを希望される方も増加していくことが想定されます。現在は訪問診療を行う医療機関を中心に、在宅看取りを希望される方への支援が行われていますが、少子高齢化が進む中、医療や介護従事者の不足が深刻化してきており、今後必要なサービスを受けることができない方も出てくる可能性があります。

今後は住民の理解を深め、専門職のスキルアップを図るとともに、医療や介護の従事者の確保に向けた活動を検討していく必要があります。

●達成度：B**●施策の方向：維持****●計画期間における達成状況**

高齢化に伴い、インフォーマルサービスが必要とされることが想定されるため、引き続き生活支援コーディネーター、協議体で連携をし、地域ニーズの把握や必要なサービスの検討を行っていきます。

●残された課題

洞爺湖町では、高齢化に伴い支援の必要性がある高齢者も増加していくことが見込まれるが、ヘルパー等の介護保険サービスに空きがない等で、利用が困難なことがあるため、元気な高齢者が担い手となる介護保険外のサービスの充実を図っていく必要があります。

●達成度：B**●施策の方向：維持**

●計画期間における達成状況

ア. 地域ケア個別会議の開催

課題解決型は必要に応じて開催します。自立支援型個別会議はリハビリ職など専門家と調整をしながら進めます。

イ. 地域包括ケア会議の開催

民生委員や自治会、関係事業所等が集まり、地域課題を共有、解決に向ける場として、開催をしていきます。

ウ. 地域包括ケアシステム会議の開催

町の避難訓練に合わせて情報伝達訓練を実施。今後も連携体制等の構築を図ります。

エ. 洞爺湖町地域ケア推進会議の開催

地域包括支援センター運営協議会を9月末に開催予定です。町内で必要な社会資源の開発や洞爺湖町の政策形成につながる提言・構築を行います。

●残された課題

ア. 地域ケア個別会議の開催

ケアマネジメントの向上、多職種との連携を図るために自立支援・重度化防止の地域ケア個別会議の開催を予定していますが、開催には至っていません。今後は対象者の選定や会議の趣旨などマニュアルを通じて関係機関に周知し理解を深める必要があります。

イ. 地域包括ケア会議

検討テーマについて、個別会議から明らかになった地域課題について、解決に向けて検討する流れを推進していきたいです。

ウ. 地域包括ケアシステム会議：特にありません。

エ. 地域包括ケア推進会議：特にありません。

●達成度：B

●施策の方向：維持

●計画期間における達成状況

認知症地域支援推進員と認知症初期集中支援チームで連携をとり、チーム員会議で助言をいただきながら支援しています。認知症の相談数は横ばいですが、早期に発見・治療につながるように普及啓発や予防活動(教室等の開催)を進めます。

●残された課題

認知症ガイドブックの更新や、認知症当事者や家族のための「認知症とともに生きる希望宣言」などホームページ掲載するなど普及啓発する必要があります。認知症高齢者が行方不明になった場合において、早期に対応できる関係者のネットワーク等がないため、構築する必要があります。

●達成度：B

●施策の方向：維持

●計画期間における達成状況

支援を必要とする高齢者も今後増加することが見込まれるなか、利用者に対する質の高い介護サービスの提供とともに、不適切な給付を改善することを通じ、介護保険制度の持続性を高めることに努めます。

●残された課題

制度本来の趣旨に沿った提供が確保されるよう、介護給付の適正化の取組を推進していきます。

●達成度：A

●施策の方向：維持

2-5 自立支援・重度化防止・認知症施策に向けた成果目標

■目標達成状況

成果目標(第8期の計画期間における目標)

| 事業名 | 目標の内容 | 令和3年度 | | 令和4年度 | | 令和5年度12月現在 | |
|---------------------|-------------------------------|-------|-----|-------|-----|------------|-----|
| | | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| 介護予防教室 | 参加者に身体・認知機能の低下がなく介護サービス未使用の割合 | 94% | 93% | 94% | 90% | 95% | 93% |
| 脳の健康教室 | 参加者の認知機能維持向上者の割合 | 90% | 87% | 90% | 84% | 90% | 77% |
| 認知症初期集中支援チーム | チーム員会議相談件数 | 20件 | 6件 | 25件 | 4件 | 30件 | 6件 |
| 認知症サポーター養成 | 受講者数 | 10人 | 26人 | 15人 | 33人 | 20人 | 0人 |
| 認知症カフェ | 支援回数 | 2回 | 0回 | 2回 | 0回 | 2回 | 0回 |
| 保健・介護予防事業の一体化事業 | 糖尿病・生活習慣病・重複投薬・低栄養等の保健・栄養指導者数 | — | | 3人 | 6人 | 5人 | 3人 |
| 地域ケア会議 | 開催件数 | 5回 | 4回 | 5回 | 3回 | 5回 | 1回 |
| 地域助け合いボランティアポイント事業※ | 交付数 | 1,500 | 56 | 1,700 | 422 | 2,000 | 0 |

※新型コロナウイルス感染症の影響によるサロンの休止等により、令和2年度は目標交付数2,800のところ約1,300の実績となる見込みから、数値を計上した。

2-6 人材確保と介護サービス事業所の質の向上

■関係者の取組

| 人材確保と介護サービス事業所の質の向上 | 介護高齢課 |
|---|-------|
| <p>●計画期間における達成状況</p> <p>概ね予定どおり実施されています。</p> <p>令和4年度には、町内にある社会福祉法人主催の介護ボランティア説明会の協賛を行い、事業所と一体となる取り組みを行いました。</p> <p>国や道からの通知をもとに、順次事業所へ周知を行い、人材確保等への共通認識を促しました。</p> <p>●残された課題</p> <p>第8期計画同様、第9期計画策定においても、町内事業所に対し「介護人材実態調査」を実施し、人材確保の基礎資料とするため、介護人材の詳細（雇用状況、性別、年齢別、資格等）を把握し、介護人材の確保に向けた必要な取組等の検討を行います。</p> <p>職場環境の改善による離職防止、外国人材の受入環境整備をします。</p> <p>ケアマネジャーの質の向上へ向けた体系的な研修をします。</p> <p>包括支援センターと連携し介護職員への研修事業や相談事業への取組による人材確保をします。</p> <p>介護人材の発掘と定着支援をします。</p> <p>●達成度：A ●施策の方向：維持</p> | |

2-7 要介護（支援）者に対するリハビリテーションの目標

■関係者の取組

| 要介護（支援）者に対するリハビリテーション | 介護高齢課 |
|--|-------|
| <p>●計画期間における達成状況 概ね予定どおり実施されています。</p> <p>●残された課題 居宅要介護者を支えるため、訪問リハビリテーション等や介護老人保健施設による在宅療養支援の充実が必要です。</p> <p>●達成度：A ●施策の方向：維持</p> | |

2-8 持続力のある介護保険制度運営

■関係者の取組

| | |
|---|-------|
| (1) 介護保険制度の適正利用 | 介護高齢課 |
| <p>●計画期間における達成状況 概ね予定どおり実施されています。</p> <p>●残された課題 地域の実情に応じた介護サービス基盤の整備及び既存事業所の在り方を検討します。 保険者機能を強化します。</p> <p>●達成度: A ●施策の方向: 維持</p> | |
| (2) 適切な要介護（要支援）認定の実施 | 介護高齢課 |
| <p>●計画期間における達成状況 概ね予定どおり実施されています。</p> <p>●残された課題 認定期間が12ヶ月から24ヶ月へ変更になったことから、区分変更の申請が増加しています。</p> <p>●達成度: A ●施策の方向: 維持</p> | |
| (3) 苦情への対応・事故報告の活用 | 介護高齢課 |
| <p>●計画期間における達成状況 概ね予定どおり実施されています。 住民より苦情を受けた際は、対象事業所へ状況確認のうえ的確な指導を実施しています。</p> <p>●残された課題 相談・苦情を受けるうえでの環境づくりが必要です。</p> <p>●達成度: A ●施策の方向: 維持</p> | |

(4) 事業者指定等管理事務の整備

介護高齢課

●計画期間における達成状況

概ね予定どおり実施されています。

新規事業開設予定者に対して、地域の状況について情報提供を行っています。

●残された課題

地域の実情に合った、介護事業所の見極めを行います。

●達成度：A ●施策の方向：維持

(5) 指定介護事業者に対する指導監督業務の効率化

介護高齢課

●計画期間における達成状況

実地指導、運営指導を行いました。

更新期間内6年間において、運営指導を実施することにより、介護サービスの質の向上を図ってきました。

●残された課題

更新期間6年間の間に、2回以上運営指導を実施し、事業所の負担にならないような運営指導を実施します。全事業所を対象とした集団指導を実施します。

●達成度：A ●施策の方向：維持

3. 災害・感染症対策に係る備え

3-1 災害・感染症等の発生に備えた体制整備

■関係者の取組

| (1) 災害対策に係る体制の整備 | 総務課 介護高齢課 |
|---|--------------|
| <p>●計画期間における達成状況 概ね予定どおり実施されています。</p> <p>●残された課題 在宅避難の推進をします。 新型コロナウイルス感染症対策をします。 在宅避難や分散避難の推進を行い、避難所以外でも提供できる仕組みづくりをします。 自助、共助、公助による連携体制等の強化をします。 全ての介護サービス事業者において策定された業務継続計画ガイドラインが十分に機能するよう対策を講じます。</p> <p>●達成度: A ●施策の方向: 維持</p> | |

| (2) 感染対策に係る体制の整備 | 健康福祉課 介護高齢課 |
|--|----------------|
| <p>●計画期間における達成状況 国や道の支援策とともに、町独自の支援策を進めていました。</p> <p>●残された課題 5類に移行した後もコロナウイルス自体がなくなったわけではないため、また、今後発生し得る別の感染症対策のため、今回の経験を生かした備えが必要です。 新型コロナウイルスの影響により、地域住民の新しい生活様式及び適切な感染症対策が求められることに伴い、高齢者のフレイル予防や社会的孤立への対応、町民参加型の共助の取組の再構築をします。</p> <p>●達成度: A ●施策の方向: 維持</p> | |

3. 施策ごとの取組の達成度一覧

施策ごとの取組の達成度は次のようになっています。

A～E評価の評価内容と達成状況は、達成度の評価基準の表に則っています。

達成度の一覧

| 取組 | A | B | C | D | E |
|------------------------------|---|---|---|---|---|
| 1-1 高齢者にやさしいまちづくり | 7 | 5 | 1 | 0 | 0 |
| 1-2 福祉サービス | 6 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 1-3 高齢者の生涯学習(社会教育事業) | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 2-1 介護(予防)サービス | 8 | 6 | 0 | 0 | 0 |
| 2-2 地域密着型サービス | 2 | 3 | 1 | 0 | 0 |
| 2-3 施設サービス | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 2-4 地域支援事業 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 2-5 自立支援・重度化防止・認知症施策に向けた成果目標 | — | — | — | — | — |
| 2-6 人材確保と介護サービス事業所の質の向上 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 2-7 要介護(支援)者に対するリハビリテーションの目標 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2-8 持続力のある介護保険制度運営 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3-1 災害・感染症等の発生に備えた体制整備 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |

達成度の評価基準

| 達成度 | 評価内容 | 達成状況 |
|-----|--|----------|
| A | 計画に掲げた施策を達成した。 (ほぼ100%実施した) | 80～100% |
| B | 計画に掲げた施策を概ね達成した。 (80%程度実施した) | 60～80%程度 |
| C | 現在、施策の達成に向けて動いている。 (半分程度実施した) | 40～60%程度 |
| D | 現在、施策の達成に向けて動き始めている。 (施策に着手し、動き始めることはできた) | 20～40%程度 |
| E | 現在、ほとんど手をつけていない。 (施策に着手することができなかった) | 20%未満 |